

鬼の三年ぜんかんじプリント



学級の友達の発表会が開かれ、彼は悪人の役で登場した。

①神様が急にあらわれ、「この服を着ると

幸福が訪れるであろう。」と言った。

②手伝ったお礼として橋の中央で油あげと一緒に丁の豆腐を受け取った。

③友達と息を止める勝負をして、苦しくなった。

④昭和のころの写真を手帳にはさみ、筆を使って漢字の勉強をした。

⑤短い式の問題を昨日の三倍はといた。

⑥一学期は球を拾って速く投げる研究をして、守りを固めよう。

⑦次に、大根の皮を炭火でいためてスープの具を作る。

⑧一度は反対されたが、深い味が出る理由を聞かせてくれた。

⑨有名人を集めて船に乗り、波打つ海を越えてハイ州へ行く。

⑩昔、湖の横にある王宮の庭で羊と追いかけっこをして遊んだ。

⑪整列していたが「申し込みは終了しました。」と言われ、悲しくなった。

⑫コンピューターを起動して暗号化されたデータを消したので助かった。

⑬太陽の下、重い荷物を持つ詩人を道路の真ん中で待っていた。

⑭暑いのでお客様さんに住所を聞き、氷を配る商売をした。

⑮放送局の三階に行き、係の人に百秒の曲をかけてもらつた。

⑯学級の友達の発表会が開かれ、彼は悪人の役で登場した。

⑰寒いので温かいお湯を全身にかけた後、笛の練習をし始めた。

⑱柱に頭を打って、血が出たので薬をぬつた。

⑲駅の近くの歯医者と保育園に行くことを決めた。

⑳西洋風の館の畑には緑色の葉と鉄の部品が落ちている。

㉑海に面した県だけを進み、安い店を探す。

㉒あの坂にある宿に平らな板を返した後、漁港に向かって旅に出た。

㉓去年、海を泳いでいた君は島の岸に流れ、病院に運ばれた。

㉔一族の初代から伝わる銀色の皿は箱から出され、祭で使われた。

㉕とある委員会の仕事ぶりを調べ、感想を書く予定だ。

㉖第一章「美しい命」を読む。

㉗とても軽い自転車を車庫に入れた後、指

主人の鼻の中に入れ注意された。

㉙東京都新宿区で農業をしている両親に、タネの植え方について相談をした。

㉚誰にでも死は等しくやってくるからこそ、良い人生を歩もう。